"高田ひろ子trio"

高田ひろ子 piano
小美濃悠太 contrabass
岩瀬立飛 drums

※通常の半分以下、12名限定にて入場制限を行っています。
※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2020 09月20日（日）

開場　14:30
開演　15:00
（2ステージ入替なし　途中入場可）（1drink=600円～）
MC=3700円　＋2drinks order

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2 F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。

小美濃悠太

1985 年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。幼少の頃より続けていたエレクトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレクトリックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学モダンジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に主都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。

高田ひろ子

大阪池田市出身。5歳からピアノを学ぶ。ジャズ奏法を高瀬アキ氏に、作曲法を二橋潤一氏・松平頼暁氏に、現代音楽ピアノ奏法を平尾はるな氏に師事。1995 年より、自己のグループを結成。以来 5 枚のリーダーアルバムをリリースし好評を得る。96 年～04 年には、スイス人Basist：Bänz Oester との Duo でスイス・日本をツアー。他にも様々な楽器や歌とのコラボレーションや、ソロ活動も行っている。

岩瀬立飛

日野元彦、坂田稔、Peter Erskine らに師事、その類まれなセンスと独特のグルーブで前田憲男、松岡直也、佐藤允彦、国府弘子、エリックミヤシロら数多くのミュージシャンから厚い信頼を集める "Tappy" こと岩瀬立飛。自身が所属するバンド「宴」をはじめ、常にポジティブな姿勢でチャレンジし続けるその姿は、まさにリズムの錬金術師といったところか。ジャズからオーケストラまで扱える作編曲家 としても手腕を発揮する岩瀬だけに、その演出にも期待がかかる！